

12/25 朝日

アベノマスク「もう捨てよう」

相手 年度内の監査決算

アベノマスクをめぐる 主な経緯

2020年
冬～春
新型コロナウイルス感染症
が拡大し、マスク需要の高
まりから品薄状態に

4月
1日
安倍晋三首相(当時)が全
世帯へ布マスクの無償配
布をすると発表。以降、配布
が始まるが、変色や異物混
入などが各地で発覚

6月
20日
布マスクの配布完了

22日
政府が施設向けに約5800
万枚の布マスクを追加発
注。その後、「必要ない」な
どと批判があり、希望施設
への配布に方針転換

2021年
10月下旬
会計検査院の調べで、約8
300万枚(今年3月末時点)
が倉庫に保管されていたこ
とが判明

12月
21日
岸田文雄首相が年度内の
布マスク廃棄を表明

24日
国が希望自治体や個人ら
への配布受け付けを開始



マスクを着用して答弁する安倍晋三
首相(当時)=
2020年4月1日



倉庫に保管されている「アベノマスク」
を含む布マスク=
2021年12月1日

布マスクの在庫は現在、た分を廃棄処分する。
約8千万枚。10月には会計
検査院の調べで、保管に約
6億円かかっていることも
指摘されていた。首相は今
月21日の記者会見で、希望
者に配布したうえで、年度
内に廃棄する方針を突然表
明。厚生労働省は24日から
1月14日まで配布希望を受
け付け、来年3月には残っ

た分を廃棄処分する。
約8千万枚。10月には会計
検査院の調べで、保管に約
6億円かかっていることも
指摘されていた。首相は今
月21日の記者会見で、希望
者に配布したうえで、年度
内に廃棄する方針を突然表
明。厚生労働省は24日から
1月14日まで配布希望を受
け付け、来年3月には残っ

た分を廃棄処分する。
約8千万枚。10月には会計
検査院の調べで、保管に約
6億円かかっていることも
指摘されていた。首相は今
月21日の記者会見で、希望
者に配布したうえで、年度
内に廃棄する方針を突然表
明。厚生労働省は24日から
1月14日まで配布希望を受
け付け、来年3月には残っ

野党側から追及

政府は24日、大臣に保管する「アベノマスク」について、希望する自治体や個人らへの配布の受け付けを始めた。新型コロナ対策として調達した布マスクだが、多額の保管費用などで批判を浴び、岸田文雄首相が今年度内の廃棄を決定。一方で、首相らが神経をとがらせたのは、この政策を推し進めた安倍晋三元首相への配慮だった。

21日の参院本会議で、首相は立憲民主党の杉尾義氏に対し、「昨年4月から5月に厚労省が直接検品したところ、約7100万枚のうち、約1100万枚、約15%が不良品」と答弁。さらに、検品費用に10億円以上かかったことも説明した。国民民主党の川合幸典氏は「このままのペースだと、在庫処分に要する期間は33年以上かかる計算となる」と批判した。

官邸幹部によると、首相はこうした国営答弁の練習の際に、「これはさしがになんとかしないと……」などと漏らしたといふ。実は政権内では、布マスクを工夫して有効活用できないか模索する動きもあつた。不織布の素材をマスク内に挟み込み、二重構造にすることで性能を改善する試みだった。ただ、その分のコストは追加でかかる。そこで、「さうに税金を投入して活用するのがあれないと、安倍晋三は「どうぞ」と、安倍晋三は「どうぞ」と、首相は安倍晋三から理解と断念した。

こうしたなか、来年度予算案の閣議決定を24日に控え、首相は引き続き保管を続けるのか判断を迫られてた。首相は保管費用の重さを重視し、周辺にこう指示したという。「もう捨てる」と示したという。「もう捨てる」というよ

う一方、廃棄にあたって、首相ら政権幹部が気をつかつたのが、自民党最大派閥の領袖である安倍晋三への対応だった。

布マスクは昨年4月、当

時

首相だった安倍晋三が企

帶に配布すると表明し、「アベノマスク」と呼ばれるようになった。介護施設向けなどと合わせて計約2億9千万枚を調達。ただ、品薄状態が解消しつつありのにもかかわらず施設向けに約5800万枚を追加発注して多くが在庫になつた経緯がある。

廃棄発表の前に、官邸幹

部らが安倍晋三に、

意図を伝えただけでなく、

廃棄費用600万円

政府は配布の受け付けを始めたが、どれだけニーズがあるかは不透明だ。仮に在庫すべてを廃棄した場合の費用は約6千万円だといふ。鈴木俊一財務相は24日、「ずっと持ち続けると保管費用がかさむ」と、「裕

な言葉で言えば、「損切りをする」というようなことではないか」と語った。

首相自身も安倍晋三に直接連絡する意の入れようだつた。関係者によると、首相が「廃棄します」と伝えるのコストは追加でかかる。と、安倍晋三は「どうぞ」と、官邸幹部による検討の結果、「さうに税金を投入して活用するのがあれないと、安倍晋三は安倍晋三から理解と断念した。

こうしたなか、来年度予算案の閣議決定を24日に控え、首相は引き続き保管を続けるのか判断を迫られてた。首相は保管費用の重さを重視し、周辺にこう指示したという。「もう捨てる」というよ

う一方、廃棄にあたって、首相ら政権幹部が気をつかつたのが、自民党最大派閥の領袖である安倍晋三への対応だった。

布マスクは昨年4月、当

時

首相だった安倍晋三が企

帶に配布すると表明し、「アベノマスク」と呼ばれるようになった。介護施設向けなどと合わせて計約2億9千万枚を調達。ただ、品薄状態が解消しつつありのにもかかわらず施設向けに約5800万枚を追加発注して多くが在庫になつた経緯がある。

廃棄発表の前に、官邸幹

部らが安倍晋三に、

意図を伝えただけでなく、

裕

な言葉で言えば、「損切りをする」というようなことではないか」と語った。

(河田政考、検察機関)